

もりただより

vol.30

発行責任者
森田 卓司
岡山市北区建部町
大田 4750-20
TEL:086-722-2237
(FAX 兼用)
TEL:086-722-9900
事務所 FAX:086-722-9911

発行年月日 '26.03.31

未来へ躍動する

桃太郎のまち岡山



ご挨拶



陽春の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は森田卓司の議員活動に対し、温かいご支援とご期待をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

私、森田卓司は令和7年5月をもちまして、岡山市議会副議長に就任を無事終えることができました。

この2年間、皆さまに温かくお支えいただいたおかげで、副議長という大役を全うすることができました。この職を通じて得た貴重な経験は、私にとって何物にも代えがたい財産です。皆さまのご厚情に、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、2月定例岡山市議会は、2月16日から3月17日まで30日間の会期で開催されました。

今議会では、岡山市の指針となる「岡山市第七次総合計画」をはじめ、過去最高額となる4,299億円の令和8年度一般会計予算案、令和7年度一般会計2月補正予算91億円の議案他92件の議案を可決して閉会しました。

主な予算内容は、令和8年度当初予算では、小中学校のトイレ洋式化・地域の資源をいかした観光振興事業など。

令和7年度2月補正予算は、小学校給食費無償化事業・防犯カメラ・防犯灯の設置および維持費への支援といった物価高騰対策など。

この一年の議会活動において、令和7年6月・11月の一般質問に加え、令和7年9月の決算特別委員会・令和8年2月の予算特別委員会での質疑を通じ、皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見や課題の解決に取り組んでまいりました。

本号の「もりただより」では、この一年の具体的な取り組みについて掲載しております。ぜひ一読いただければ幸いです。

結びになりますが、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻、そして叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

市長の政治姿勢について

旭川ダム移転新設について

令和7年6月議会

Q: 森田 卓司

旭川ダム再生事業は、現在の旭川ダム右岸にトンネルで事前放流することで進んでいると私は認識していた。2年前に私がちょうど東京へ出張しているときに市長から電話をいただき、国土交通省へ旭川ダムの件で要望に行くから一緒にどうかと連絡があった。その後も市長は、この事業について岡山市の先頭に立ち、各方面に働きかけてこられた。結果、旭川ダムを新築移転する河川整備計画の変更案が発表され、今後、県や関係省庁との協議を経て正式決定される見通しであると聞いた。この事業に対する市長の思いと期待はどうか。

〈令和8年度の市政運営〉

災害対策については、平成30年7月豪雨を教訓として、ハード・ソフト両面から総合的な浸水対策を進め、これまでに約7割の7割の床上浸水解消にいたしました。残る地域についても、旭川ダム再生の他、ポンプ場の建設を進めていくことで解消の目途が立ってまいりました。

※令和8年2月定例岡山市議会（冒頭）市長提案理由説明より原文

A: 大森雅夫市長

平成30年7月豪雨、2,230戸の床上浸水が発生した。まず取り組まなければならないのは、砂川の破堤の整備だった。内水氾濫が至るところに出ている、今保・白石のポンプ場を早期に造っていくことを目標としてやっていき、高梁川水系の水利調整も大きな課題で、それも実現できた。し

かしながら、御津も多く床上浸水を出したが、これだけはやはり旭川のダムの事前放流を多くすることが根本的な解決になるということ、ずっと国土交通省と話してきた。

国土交通省もいろいろな案を考えながら整理してこれ、ようやく動き出し、私も来年度（令和8年度）の概算要求に具体的なものがどう盛り込まれるのか、非常に大きな関心ごとで、さらに国のほうへ働きかけをしていく。これに関しては、国土交通省もそうだが、県選出の国会議員、岡山市を選挙区とする逢沢議員、山下議員、小野田議員、財務大臣、加藤大臣も随分力を入れていただいた。さらに一層気を緩めずに対応していく。

旭川ダム再生事業推進について

令和7年11月議会

Q: 森田 卓司

近年の気候変動の影響に伴う豪雨量の増大等を踏まえれば、旭川ダムの洪水調整機能向上を図る旭川ダム再生事業は緊急かつ不可欠です。大森市長を先頭に各種要望活動を行った結果、来年度旭川ダム再生事業が建設段階に移行されたことは流域全体の安全性向上にとって大きな前進である。

さて、スタートラインには立ったもののダム再生事業を行うには多くの時間と財源が必要であり、今後事業の推進に当たっては様々な課題に対し国と地元自治体が歩調を合わせた対応していく必要があると考えます。

そこでお尋ねします。

旭川ダム再生事業が建設段階に移行したことについて、ご所見を。

A: 大森雅夫市長

平成30年7月豪雨、この床上浸水解消を目標に様々な動きしてまいりました。この旭川中流域の床上浸水解消には、もう直轄事業である旭川ダム再生事業の推進が不可

欠ということ、国に随分話をしてきました。あるときは森田議員も一緒に行動したところでもあります。

平成30年7月豪雨と同規模の洪水が発生したと想定した場合、河川改修を含めこの事業が完成すると市街地の約6万3,000世帯の床上床下浸水がおおむね解消される見込みであります。大きな前進だとは受け止めていますが、完成までには長時間を要します。総事業費も約1,100億円と膨大であり、円滑な事業推進には安定した予算確保が必要となっております。今後は安定的に事業費を確保して早期に事業を完成していただけるよう、国に要望していきたい。

Q: 森田 卓司

今後のスケジュールと来年からの事業予定についてお示しくください。

A: 下水道河川局長

旭川ダム再生事業は、おおむね20年以内の完成を目指していると聞いております。詳細な事業予定は現在検討中とのことですが、まずは測量、調査、設計や環境影響調査を行い、地域との合意を形成しながら本體工事へ移行することになると聞いております。

Q: 森田 卓司

旭川ダム周辺地域は人口減少が進むなど、地域の活性化が急務であります。ダムのような長期にわたる大型事業は地域経済によい影響をもたらすと期待するところですが、ご所見を。

A: 下水道河川局長

完成までに長期を要する旭川ダム再生事業の実施は、高齢化の進行や人口減少が著しい地域の活性化を促進し地域経済にも好影響を与えるものと考えられます。そのため、今後生活基盤の改善や地域振興など地域の活性化につながる取組について、国と岡山市を含めた関係市町で意見交換していきたい。

地域振興基金について

Q:森田 卓司

地域振興基金の現在までの活用実績に対しての感想及び基金の活用方針について

A:大森雅夫市長

2期目(2017)の選挙のときに、建部、御津における人口減少地域の発展について意見を求められることが多かった。そのような状況のなかで、合併特例債

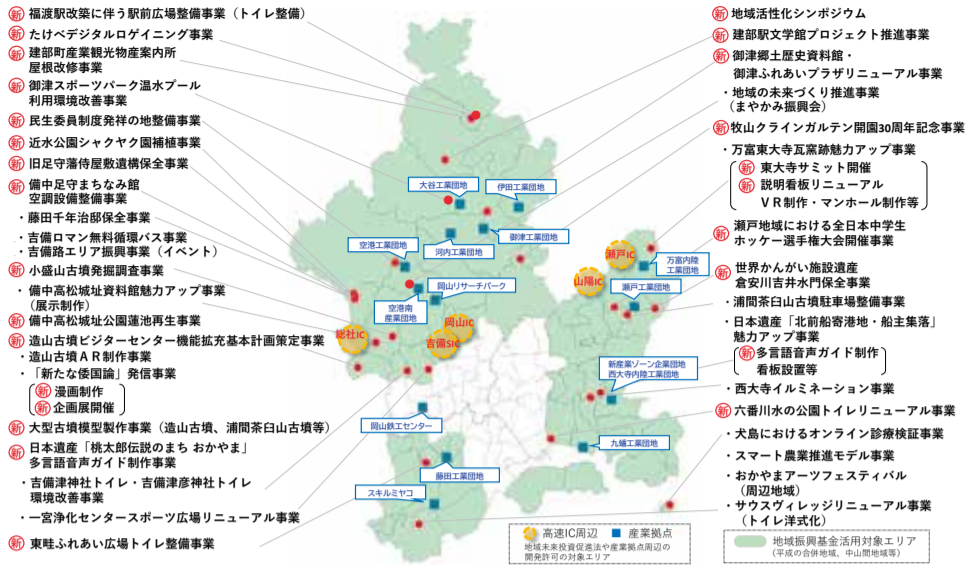
35億円を地域振興基金として活用できるかどうか国と相談し、2期目の最初に一定の人口減少地域に対応して活用しようという決めた。現在まで、世界かんがい施設遺跡、建部

井堰のPR事業、足守ではまちなみ館の展示リニューアル、高松城では資料館のリニューアル、また造山古墳、西大寺の観音院等々多くの事業について地域振興基金を

令和7年6月議会

民間活力と地域振興基金による魅力ある地域づくり

民間活力や地域振興基金の活用により地域の特色をいかした魅力ある地域づくりを推進



使って整備してきた。地域の活性化に一定の効果があったと思っている。

できるだけ早く周辺地域に力を入れていくという考えのもと、令和7年度は4億3,000万円の予算を計上した。

事業の種類としては非常に広いものである。この基金の活用をさらに駆使して各地域の振興を図っていきたい。

A:政策局長

地域振興基金については、現在、地域の熱量の高まりを受けて案件が増えてきた。現在は令和8年度予算に向け、各局区へ事業への手挙げを呼びかけている。提案のあった事業内容を踏まえて、全体の中に何が必要か来年度に向けて検討する。

道路整備について

令和7年6月議会

Q:森田 卓司

令和7年1月17日に主要地方道御津・佐伯線バイパスの開通式が執り行われた。地域の皆様は大変喜ばれた。地域にとって道路整備の重要性を改めて認識した。

そこでお尋ねします。(1) 高規格道路空港津山道路の進捗状況について

A:都市整備局長

地域高規格道路空港津山道路は、岡山空港や岡山市街地と岡山県北部の拠点である津山地域とを結ぶ道路であり、国が事業を進めている。現在、美咲町打穴中から津山市平福までの約5.4キロメートル区間の早期完成に向け工事を進めている。事業進捗率は事業費ベースで約60%と伺っている。

また、早期の整備促進に向け、岡山市や津山市など沿線自治体で構成する空港津山道路整備促進協議会として、毎年夏と秋に国、県及び県選出国会議員へ要望活動を行うとともに、岡山市においても毎年度、政策提言、要望事項の中に掲げている。



2025.1.17 主要地方道 御津佐伯線バイパス開通式

引き続き、国に対し、空港津山道路の早期整備について、沿線自治体が一体となって要望していく。

Q:森田 卓司

(2) 主要地方道建部・大井線の進捗状況について

A:都市整備局長

建部町桜から御津紙工間の延長約1.9キロメートル区間を対象に、離合困難な狭小区間の解消に向け、平成22年度より道路拡幅を進めている。これまでに現地の測量や詳細設計を終え、現在、用地買収を進めていく。

再質問:森田 卓司

あまりにも事業の進捗が遅いが、今後の進め方はどうなっているか。

A:都市整備局長

建部・大井線については大変時間がかかっている。申し訳ありません。用地買収をするに当たって、公図と現地との相違があり、その地図訂正等に多くの時間がかかったのと、また相続関係人が多数いると

いうことで、その全ての相続関係人への説明及び事業への理解をいただくのにかなり時間を要していることから、用地買収がいまだなかなか進んでいない状況である。

引き続き、粘り強くそういった関係者への事業協力を求めるとともに、また工区1.9キロメートルと非常に長い区間なので、ある程度工区割りを設定して、集中的にその用地買収、用地交渉を進めていき、ある程度用地買収が進んだ段階で短い区間であっても工事に着手して、事業を着実に進めていきたい。

Q:森田 卓司

(3) 主要地方道高梁・御津線の進捗状況について

A:都市整備局長

御津紙工地内における延長約2.8キロメートル区間を対象に、平成29年度より2車線化を進めている。令和6年度に事業区間西側の500メートル区間が完成しており、現在は、残る区間の詳細設計や用地買収を進めている。

Q:森田 卓司

(4) 県道平岡・小鎌線の進捗状況について

A:都市整備局長

御津平岡西から石上間の延長約1.5キロメートル区間を対象に、離合困難な狭小区間の解消に向け、平成23年度より道路拡幅を進めている。これまでに事業区間のうち約1キロメートル区間が完成しており、現在は残る区間の工事を進めている。

Q:森田 卓司

県道仁堀中・御津線の進捗状況について

A:都市整備局長

御津中畑地内における延長約650メートル区間を対象に、離合困難な狭小区間の解消に向け、令和5年度より道路拡幅を進めているところである。これまでに概略設計を実施しており、今後、道路詳細設計や用地測量を実施し、用地買収を進める予定である。

たけべの森公園について

令和7年6月議会

Q:森田 卓司

豊かな自然に囲まれて、特に四季折々の花や樹木が美しく、野鳥観測も家族で楽しめるとともに地域のイベントも開催され、岡山市の中心部からのアクセスもよく、すばらしい公園であると思っっている。旧町時代からたけべ八幡温泉、めだかの学校とともに、観光の3大拠点として多くの皆様に愛された施設である。

(1) たけべの森公園は、豊かな自然を生かした建部地域の拠点の一つである。たけべの森公園の現状をどう捉え、今後どのように活性化するか。

A:都市公園担当局長

たけべの森公園は、市北部における観光レクリエーション交流拠点と

たけべの森公園の再整備(案)について

桃六郎

令和10年度の次期管理者運営に向けて、民間活力導入等の新スキームを定め・募集するとともに、持続可能な民間運営に不可欠な施設の修繕等に必要都市計画決定手続きや設計・整備を進める。

スケジュール表: R5(あり方の検討), R6(基本設計), R7(基礎調査あり方の再検討), R8(都市計画決定修繕設計等), R9(修繕・整備), R10(新スキームでの整備・管理・運営)

令和8年度当初予算 59,000千円

- 事業者選定アドバイザー業務 (P-PFI+指定管理など) (債務負担) 12,000千円
●都市計画決定図書作成支援業務 10,000千円
●プールに係る実施設計業務 (更衣室・トイレ・設備など) 32,000千円
●公園進入路 舗装工事 5,000千円

令和9年度以降の予定

- 事業者の公募・決定
●プールの再整備工事 (更衣室・トイレ・設備など)



して位置づけられており、季節を感じながら様々な遊びを楽しめるが、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化等への対応が課題である。今後は、市内外からのより気軽な利用の視点を加え、運営スキームの見直しや施設更新などの検討を行い、新たな魅力づくりを図っていく。

Q:森田 卓司

(2) 開園から約39年が経過して老朽化が進んでおり、再整備が必要と考えるが、現在の検討状況とスケジュールはどうか。

A:都市公園担当局長

設備と樹木等の老朽化が特に進んでいると認識している。令和5年度から再整備の検討を進めてきた。今年度は、令和10年度からの次期指定管理期間における運営スキームとともに、改修の対象と財源も含めた優先順位等の方針を検討しているところである。来年度から、次期事業者募集や先行して実施すべき改修などの具体的な準備作業を実施していく。

再質問:森田卓司

財源確保、プールについて早期に改修が必要ではないか。入園料に対する感想と所感はどうか。

A:都市公園担当局長

プールについては、利用者が非常に多い一方で設備の老朽化が進行しているため、次期運営スキームを踏まえて、早期に対応を整理したい。入園料金を徴収するという料金体系が最適とは言い難い状況にある。今年度の検討の中で整理して、具体的な準備につなげていきたい。



2025.5.31 宇甘西ホテルまつり

令和7年6月定例岡山市議会 一般質問項目

- 1 市長の政治姿勢について
(1) 地域振興基金について
(2) 旭川ダム移転新設について
2 道路整備について
3 たけべの森公園について

令和7年9月決算審査特別委員会 質疑項目

- 1 決第1号 令和6年度岡山市一般会計歳入歳出決算について
決第13号 令和6年度岡山市水道事業会計決算について
決第17号 令和6年度岡山市下水道事業会計決算について

令和7年11月定例岡山市議会 一般質問項目

- 1 市長提案理由説明より
(1) 周辺地域の振興について
(2) 旭川ダム再生事業の推進について
2 空き家対策について

ひとりごと

コロナ禍を経て地域のかたちは変わりましたが、行事の復活や新しい試みなど、明るいニュースも増えてきました。

今号の「もりただより」は本会議での一般質問が中心です。文字量が多くなりますが、一人でも多くの方に議会での活動の様子をお届けしたいという思いで作成しました。

この紙面が、皆さまと私をつなぐ大切な架け橋となることを願っています。



Morita Takushi



2025.8.29 エディオンピースウィング広島(視察)

活力のある地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら...

TEL:(086) 722-2237・722-9900 FAX:(086) 722-9911
携帯電話:090-1337-2249
HP https://t-morita.com/
E-mail:t-morita@po12.oninet.ne.jp
携帯 E-mail:t.morita926@gmail.com



岡山市 人口表: 御津支所(男3,806,女4,069,計7,875), 建部支所(男2,177,女2,468,計4,645), 北区計(男136,885,女147,251,計284,136), 岡山市計(男323,789,女350,758,計674,547)

インターネットで検索クリック!! 森田たくし 検索

令和8年1月末日現在